2018年度　環境経営レポート

環境経営レポートの対象期間：2018年12月1日～2019年11月30日

（第13版　発行　2020年3月）

交通安全施設を通し持続可能な社会実現に寄与する！

中部ロードテック株式会社

®環境省
エコアクション21
認証・登録番号0002595

目　　次

1.	組織の概要	1～2
2-1.	実施体制（組織図）	3
2-2.	組織図（役割・責任・権限）	4
3.	環境経営方針	5
4.	環境経営目標	6
5.	環境経営計画と評価	7～8
6.	環境経営計画に基づき実施した取組み内容	9～13
7-1.	環境経営目標の実績	14
7-2.	環境経営計画の取組結果とその評価	15～16
7-3.	次年度の環境経営計画	17～18
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	19
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示	20

1. 組織の概要

❒事業者及び代表者

事業者名：中部ロードテック株式会社

代表者名：海野　景司

❒所在地

＜　　本　　社　　＞

〒422-8046

静岡市駿河区中島1380-1

☎　054-287-2716

📠　054-287-2736

HP　http://www.s-crt.com/

＜ 沼 津 営 業 所 ＞

〒410-0048

沼津市新宿町16-5　まるやビル

☎　055-943-7824

📠　055-943-7825

<本社アクセスマップ>

❒環境管理の責任者及び担当者

＜環境管理責任者＞　海野　景司

＜環境管理担当者＞　北川　忠史

E-mail　roadtech@guitar.ocn.ne.jp

❒創業

1993年6月1日

❒資本金

10,000千円

❒所属団体

一般社団法人　全国道路標識・標示業協会

1. 組織の概要

❒事業の内容

■建設業（交通安全施設の設計施工）

【本社】

＜建設業の種類＞　静岡県知事許可　第26833号

＜建設業許可＞　土木工事業、とび・土工工事業、電気工事業、舗装工事業、塗装工事業

＜有効期限＞　2024年8月24日

【沼津営業所】

＜建設業許可＞　土木工事業、とび・土工工事業、塗装工事業

■産業廃棄物収集運搬業（現在のところ実績なし）

＜許可＞　静岡県知事　第02201196927号

＜有効期限＞　2022年9月10日

＜許可の区分＞　収集・運搬（積替え、保管行為を除く）

＜産業廃棄物の種類＞　廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

❒主要取引先

国土交通省、静岡県警察本部、ＮＥＸＣＯ中日本、静岡県内各土木事務所

静岡市役所、焼津市役所、島田市役所、他静岡県内各市町村

土屋建設株式会社、山本建設株式会社、他静岡県内舗装会社

❒事業の規模

対象年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
対象期間	2015年12月1日～ 2016年11月30日	2016年12月1日～ 2017年11月30日	2017年12月1日～ 2018年11月30日	2018年12月1日～ 2019年11月30日
売上高	359百万円	332百万円	252百万円	317百万円
従業員数	17人	20人	17人	17人
本社事務所床面積	142.4㎡	142.4㎡	142.4㎡	142.4㎡
沼津営業所床面積	-	-	20.4㎡	20.4㎡
倉庫床面積	283.8㎡	283.8㎡	283.8㎡	283.8㎡
資材置場面積	702.69㎡	702.69㎡	702.69㎡	702.69㎡

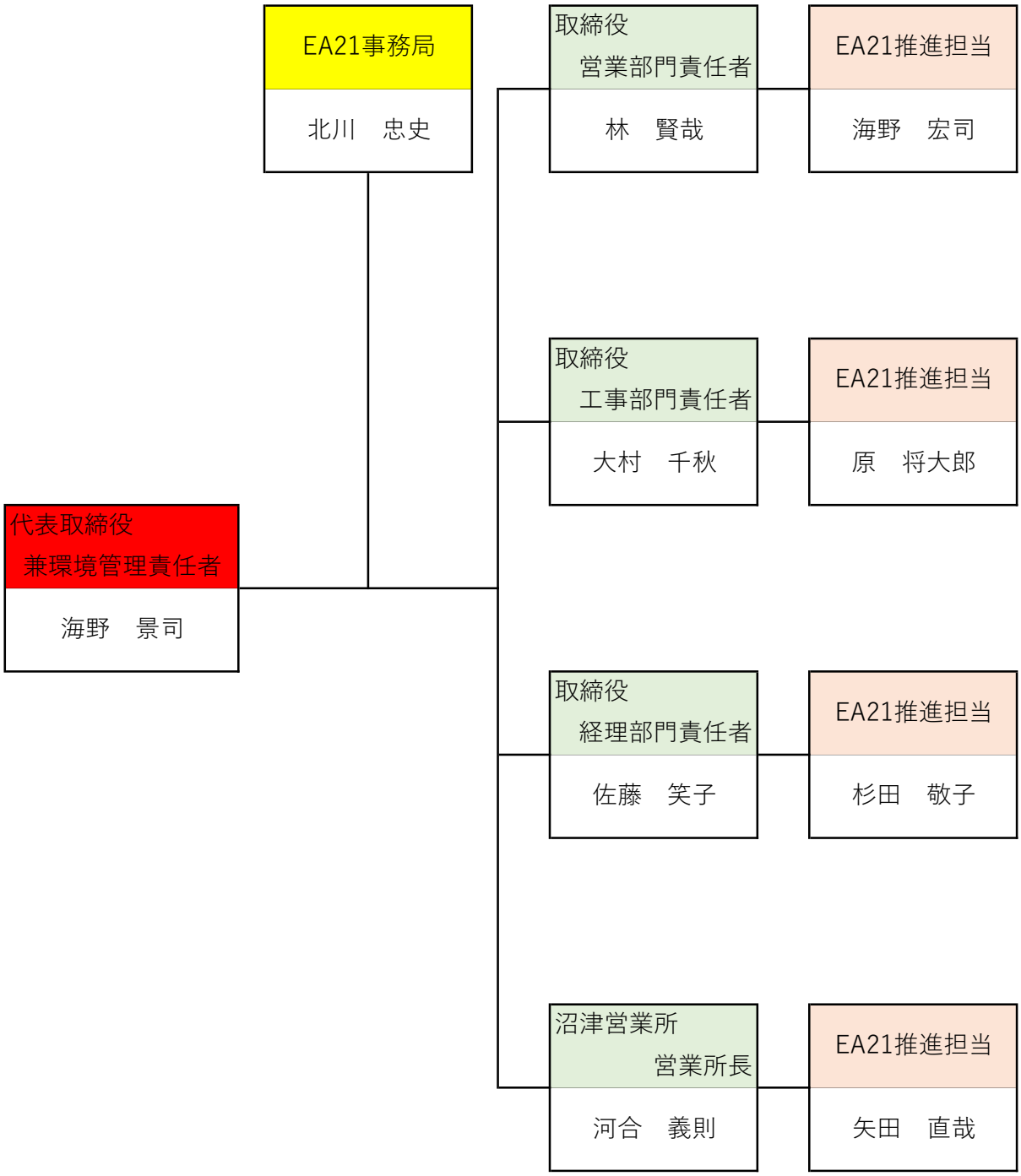
❒取組の対象組織・活動

対象組織：全組織（本社、沼津営業所）を対象

対象活動：全活動を対象

2-1. 実施体制（組織図）

〈2019年11月現在〉



2-2. 実施体制（役割・責任・権限）

<代表取締役兼環境管理責任者>

1.環境経営に関する総括責任
2.経営における課題とチャンスの明確化
3.環境経営方針を定め社会への誓約並びに全従業員への周知
4.環境経営目標及び環境経営計画の承認
5.エコアクション21を運用し維持するための経営資源を用意
6.環境への負荷の自己チェックの実施
7.全体の評価と見直し指示
8.環境経営レポートの承認

<EA21事務局>

1.環境経営方針に基づき環境経営目標の作成
2.各部門責任者から提出された環境経営計画の取り纏め
3.実績の集計並びに計画の予実管理
4.環境経営レポートの作成
5.エコアクション21に関連する文書・記録の管理

<部門責任者>

1.環境経営目標に則った環境経営計画の策定
2.部門社員への環境教育の実施
3.EA21事務局に、部門に関連する取組結果の報告

<営業部門推進担当者>

1.化石燃料（ガソリン）の削減
2.環境に配慮した施工計画の提案

<工事部門推進担当者>

1.化石燃料（軽油、液化石油ガス）の削減
2.化学物質使用量の抑制及び適正管理
3.周辺環境に配慮した施工
4.産業廃棄物の適正分別と廃棄量削減
5.地域ボランティアへの積極参加

<経理部門推進担当者及び沼津営業所推進担当者>

1.購入電力の削減
2.灯油使用量の削減
3.水使用の削減
4.一般廃棄物の適正分別と廃棄量削減

3. 環境経営方針

基本理念

中部ロードテック株式会社は、交通安全施設の設計施工を通し安心安全な社会創りに寄与するための事業者として、環境面からも環境の保全を意識し環境経営を進めることで、持続可能で豊かな社会実現の一翼を担い、安全で安心な社会の構築に貢献し続けます。

環境保全への行動指針

1. 地球環境保護のため創意工夫等により、省エネルギー・リサイクル・分別収集再資源化活動・節水を推進し、主に燃料の節約・使用電力の節約により二酸化炭素排出削減に努める。

2. 環境関連法規を遵守する。

3. 全社員に対して環境経営方針を掲示等により周知させ、環境教育を行い、会社のみならず、家庭においても実施するよう啓蒙活動を行い環境保全の重要性意識を高める。

4. 環境活動レポートをＨＰ等にて社外に公開し社会とのコミュニケーションを図る。

5. 建設現場で使用する重機は周辺への環境に配慮されたものを使用する。

6. 化学物質の適正な管理を徹底する。

7. 環境に配慮した施工技術の提案、並びに環境にやさしい商品の販売を推進する。

8. 地域の環境保全への取組みに積極的に参加する。

制定　2007年9月1日
改訂　2012年12月1日
改訂　2018年12月1日

中部ロードテック株式会社
代表取締役　海野　景司

4. 環境経営目標

【目標値遵守目標項目】　　作成日　2018年12月1日

項目	実績		目標			
	2015年度（基準年度）		2018年度（増減率）	2019年度（増減率）	2020年度（増減率）	2021年度（増減率）
二酸化炭素排出量	128,397	kg-CO2	124,545 (-3.0%)	123,261 (-4.0%)	121,977 (-5.0%)	120,693 (-6.0%)
購入電力	14,338	kwh	13,908 (-3.0%)	13,764 (-4.0%)	13,621 (-5.0%)	13,478 (-6.0%)
ガソリン使用量	14,874	ℓ	14,205 (-4.5%)	13,982 (-6.0%)	13,759 (-7.5%)	13,535 (-9.0%)
軽油使用量	23,734	ℓ	23,022 (-3.0%)	22,785 (-4.0%)	22,547 (-5.0%)	22,310 (-6.0%)
一般廃棄物排出量	1.64	t	1.39 (-15.0%)	1.34 (-20.0%)	1.23 (-25.0%)	1.15 (-30.0%)
産業廃棄物排出量	89.39	t	88.05 (-1.5%)	87.60 (-2.0%)	87.16 (-2.5%)	86.71 (-3.0%)
水使用量	144.93	㎥	142.76 (-1.5%)	142.03 (-2.0%)	141.31 (-2.5%)	140.58 (-3.0%)

※購入電力二酸化炭素排出係数は、本社使用電力は中部電力株式会社で0.472kg-CO2/kwh。
　また、沼津営業所は東京電力エナジーカンパニーで0.474kg-CO2/kwh。

【目標値達成目標項目】

項目	実績		目標			
	2015年度（基準年度）		2018年度（増減件数）	2019年度（増減件数）	2020年度（増減件数）	2021年度（増減件数）
環境に配慮した施工（計画）	38	件	44件 (+6件)	46件 (+8件)	48件 (+10件)	50件 (+12件)
環境ボランティア活動の実績	5	件	6件 (+1件)	6件 (+1件)	6件 (+1件)	6件 (+1件)

【適切な保管・管理を行うことを目標とする項目（実績値は把握する）】

項目	実績		目標			
	2015年度（基準年度）		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
灯油使用量	616	ℓ	適切な保管・管理を行う 実績値は把握する			
LPガス使用量	7,634	kg	適切な保管・管理を行う 実績値は把握する			
化学物質使用量（トルエン）	579.84	kg	適切な保管・管理を行う 実績値は把握する			

※灯油使用量は少量で、主に事務所の暖房ストーブ用に使用している。使用量は冬期の気候により大きく変動するため、目標値は設定せず、適切な保管・管理を行うことを目標とする。（但し、実績値は把握する）
※ＬＰガス使用量及び化学物質（トルエン）使用量は、受注する区画線工事量により変動するため、計画的に使用量を管理することは難しく、目標値は設定せず、適切な保管・管理を行うことを目標とする。（但し、実績値は把握する）

5. 環境経営計画と評価

No	取組内容	担当	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	担当評価	社長評価
1	**二酸化炭素排出量の削減**															
	❒購入電力の削減	杉田、矢田														
	クールビズ・ウォームビズの推進による冷暖房使用の抑制	経理部門													○	○
	事務所内空調の適温化（冷房28°C程度、暖房20°C程度）の徹底														△	△
	事務所・倉庫・トイレ等の照明は不要時の消灯の徹底														○	○
	エアコン簡易点検とフィルターの定期掃除実施														○	○
	蛍光灯の定期清掃実施														○	○
	❒化学燃料（ガソリン）の削減	海野（宏）														
	エコ運転の推奨	営業部門													○	○
	アイドリングストップの推奨														○	○
	休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える														○	○
	車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告														○	○
	運転日報（走行距離、給油量）の提出と車両別燃費結果のデータ化														○	○
	車両の入替にあっては低燃費車を優先する														車両入替無	
	❒化石燃料（軽油、液化石油ガス）の削減	原														
	エコ運転の推奨	工事部門													○	○
	アイドリングストップの推奨														○	○
	休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える														○	○
	車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告														○	○
	運転日報（走行距離、給油量）の提出と車両別燃費結果のデータ化														○	○
	対象工事に見合う区画線材料の溶融により液化石油ガスの使用量抑制														○	○
	❒灯油使用量の削減	杉田、矢田														
	冷え込みが厳しい状況を除き電気暖房器具での空調を優先する	経理部門													○	○
	状況に応じ大小のストーブを使い分ける														○	○
	ストーブ使用時はストーブの上に水の入ったやかんを置き加湿する														○	○
	加湿器使用により暖房効果（体感温度上昇）を高める														○	○
	扇風機等により事務所内の空気の撹拌を行う														○	○

5. 環境経営計画と評価

No	取組内容	担当	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	担当評価	社長評価
2	**廃棄物排出量の削減**															
	❒一般廃棄物の適正分別と廃棄量削減	杉田、矢田														
	段ボール、雑誌、雑紙を分別リサイクル	経理簿門													○	○
	ペットボトル、瓶、缶等を分別リサイクル														○	○
	印刷は両面印刷を基本とする														○	○
	不要となった使用済コピー用紙の裏面使用の徹底														○	○
	❒産業廃棄物の適正分別と廃棄量削減	原														
	区画線材料の袋は、溶融式を使用し残材を出さない	工事部門													○	○
	再生資源利用計画書に沿った管理を行う														○	○
	施工・作業方法を見直し、廃棄物発生量の抑制を図る														○	○
	施工・作業時における資材ロスの低減を実施														○	○
	コンテナボックスの交換状況表を作成し削減の意識付けを図る														△	△
	建設現場で発生する廃棄物を適正に分別し混合廃棄物としない														○	○
3	**❒水使用量の削減**	杉田、矢田														
	節水の呼び掛けを行うと共に日常的に節水を励行	経理部門													○	○
4	**❒化学物質使用量の抑制及び適正管理**	原														
	化学物質の購入は必要最小限とし、原則保管はしない	工事部門													○	○
	保管にあたっては揮発防止及び流出防止策を講じ厳密に行う														○	○
5	**❒周辺環境へ配慮した施工**	原														
	低騒音・低振動の重機使用により周辺に配慮	工事部門													○	○
	❒環境に配慮した施工計画の提案	海野（宏）														
	再生資源の積極利用	営業部門													○	○
	環境負荷の少ない建築材の使用提案														○	○
	環境負荷の少ない施工のための設計・計画の策定														○	○
6	**❒地域ボランティアへの積極参加**	原														
	環境美化ボランティア（河川環境アドプトプログラム）への参加	工事部門													○	○
	道路清掃活動（「静岡市道路サポーター制度」）への計画的参加														○	○

【評価基準】　○・・・取り組みは徹底されている

△・・・取り組みはされているが更なる取り組み強化が求められる

×・・・十分な取り組みはされていない

6．環境経営計画に基づき実施した取組内容

❒社用車の燃費向上活動

工事部門及び営業部門のエコアクション推進担当のリーダシップの下、次に掲げる４項目を燃費向上の為の取組み内容とした。

1.エコ運転の推奨

2.アイドリングストップの推奨

3.休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える

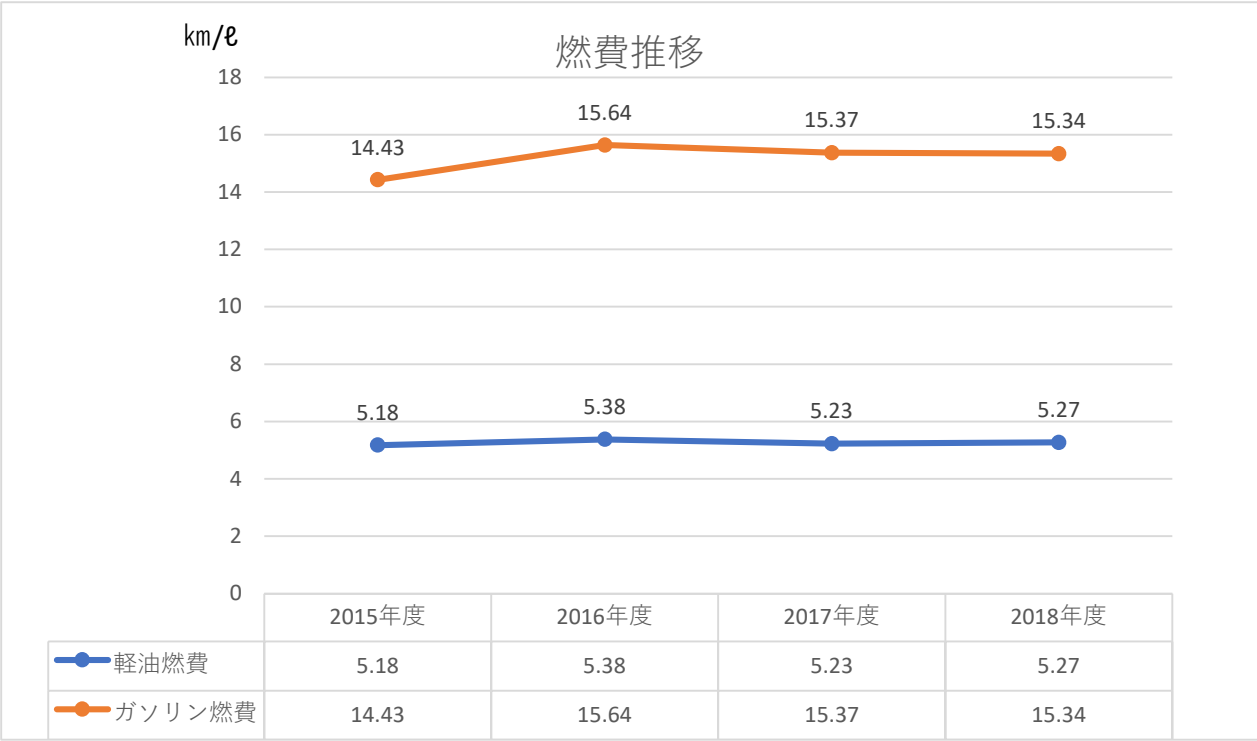
4.車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告

また、１週間毎に走行距離と給油量を運転日報として報告させ、車両別燃費結果をデータ化して、それを全体会議でフィードバックし、社員一人一人が主体的且つ積極的に燃費向上に取組める組織風土醸成を組織の課題とした。

<社用車燃費の推移>

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	単位
工事車両（軽油）	走行距離	113,701	117,085	93,827	83,546	km
	給油量	21,969	21,743	17,944	15,849	ℓ
	燃費	5.18	5.38	5.23	5.27	km/ℓ
営業車両（ガソリン）	走行距離	128,999	139,825	176,269	198,092	km
	給油量	8,938	8,940	11,467	12,929	ℓ
	燃費	14.43	15.64	15.37	15.32	km/ℓ

※レンタカーの実績を含まず。



6．環境経営計画に基づき実施した取組内容

❒節水を呼び掛ける表示物

<表示箇所>
・屋内給湯室
・屋外手洗い所
・室内トイレ手洗場
・男子トイレ手動水洗ボタン付近
・様式トイレのトイレットペーパーカバー上部

❒空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）

〈クールビズ対応で28℃でも快適に！〉

冷房
28℃

〈ウォームビズ対応で20℃でも暖かく！〉

暖房
20℃

❒状況に応じ大小のストーブ使い分け

<大ストーブ>
冷え込みが強く、事務所全体を暖める場合に使用する。

<小ストーブ>
冷え込みが強く、事務担当者のみ事務所に在籍の場合に使用する。

6．環境経営計画に基づき実施した取組内容

❒エアコン簡易点検とフィルターの定期掃除実施

<室内機の点検と掃除>

実施日：2018年12月28日（金）

実施日：2019年3月1日（金）

実施日：2019年6月26日（水）

実施日：2019年9月9日（月）

<室外機の点検と掃除>

実施日：2018年12月28日（金）

実施日：2019年3月6日（水）

実施日：2019年6月12日（水）

実施日：2019年9月23日（月）

❒低騒音型・排出ガス対策型の重機を使用した工事の実施例

工事名：令和元年度　焼津市南部土地区画整理事業区域内道路標識及び区画線設置工事

工　期：2019年7月2日～2019年9月24日

❒蛍光灯の定期清掃実施

実施日：2019年1月10日（木）

2019年7月7日（月）

実施日：2019年4月25日（木）

実施日：2019年10月15日（火）

6．環境経営計画に基づき実施した取組内容

❒社会貢献への参加（アダプトプログラム）

　静岡市河川環境アダプトプログラム事業に参加しており、市内を流れる安倍川・藁科川における河川敷等のゴミを取り除く環境美化ボランティアを行い、美しい川創りに協力しています。本年度も３回実施しました。

活動区域：安倍川左岸市立田町小学校付近から静岡河川事務所付近

《第1回目：2019年4月8日（月）参加人数5人》

《第2回目：2019年7月19日（金）参加人数5人》

《第3回目：2019年10月22日（金）参加人数5人》

6．環境経営計画に基づき実施した取組内容

❒社会貢献への参加（道路サポーター）

2006年9月に創設された『静岡市道路サポーター制度』に登録し、道路の草狩りやゴミ拾い等、道路清掃活動に参加しています。本年度も3回実施しました。

活 動 区 域 ： 静岡市駿河区中島

路　線　名 ： 市道中島土地区画9号線（起点～終点）

市道中島中野新田2号線（区間約60m）

《第1回目：2019年4月8日（月）参加人数9人》

《第2回目：2019年7月19日（金）参加人数7人》

《第3回目：2019年10月22日（金）参加人数10人》

7-1. 環境経営目標の実績

【目標値遵守目標項目】

項目	2015年度		2018年度					
			目標		実績		削減率乖離幅	評価
	基準年度実績値		目標値	削減率	実績値	削減率		
二酸化炭素排出量	128,397	kg-CO2	124,545	-3.0%	99,615	-22.4%	-19.4%	◎
購入電力	14,338	kwh	13,908	-3.0%	12,815	-10.6%	-7.6%	○
ガソリン使用量	14,874	ℓ	14,205	-4.5%	11,310	-24.0%	-19.5%	◎
軽油使用量	23,734	ℓ	23,022	-3.0%	19,221	-19.0%	-16.0%	◎
一般廃棄物排出量	1.64	t	1.39	-15.0%	0.62	-62.2%	-47.2%	◎
産業廃棄物排出量	89.39	t	88.05	-1.5%	77.71	-13.1%	-11.6%	◎
水使用量	145.00	㎥	143	-3.0%	177	22.1%	25.1%	×

【評価基準】　※削減率乖離幅とは、実績削減率から目標削減率を差し引いた数値。

◎　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が大きく、その削減率乖離幅が10%以上。

○　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が大きく、その削減率乖離幅が10%未満。

△　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が小さく、その削減率乖離幅が10%未満。

×　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が小さく、その削減率乖離幅が10%以上。

【目標値達成目標項目】

項目	2015年度	2018年度				
		目標		実績		評価
	基準年度実績値	目標値	増加件数	実績値	増加件数	
環境に配慮した施工（計画）	38件	44件	6件	46件	8件	○
環境ボランティア活動の実施	5件	6件	1件	6件	1件	○

【評価基準】

○　目標達成

×　目標未達成

【適切な保管・管理を行うことを目標とする項目（実績値は把握する）】

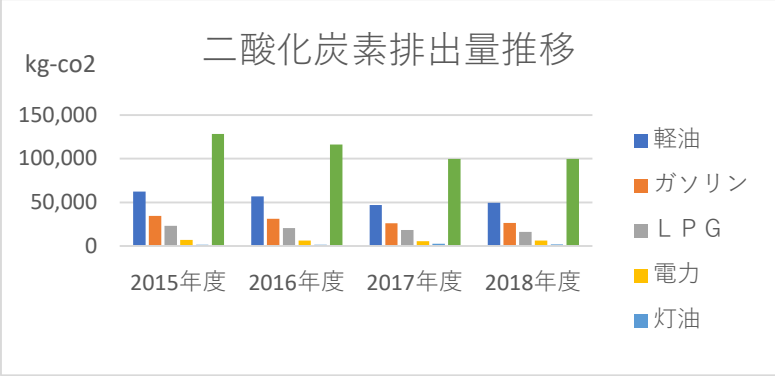
項目	2015年度		2018年度		
			目標	評価	実績値把握
	基準年度実績値				
灯油使用量	616	kg	適切な保管・管理を行う	○	700
LPガス使用量	7,634	kg	適切な保管・管理を行う	○	5,330
化学物質使用量（トルエン）	580	kg	適切な保管・管理を行う	○	694

【評価基準】

○　適切な保管・管理が行えた場合

×　適切な保管・管理が行えなかった場合

7-2. 環境経営計画の取組結果とその評価

項　　目	評　　価	評価
二酸化炭素排出量の削減	❒3.0%の削減目標に対して実績は22.5%と大幅に削減。要因として、二酸化炭素排出量の50%程度を占める軽油使用量を19.0%削減できたことが寄与した。 ❒二酸化炭素排出量は、2015年度から毎年コンスタントに減少した状況で推移しており目標を達成している。 ❒二酸化炭素排出量は、ガソリン・軽油使用量からの排出量が全体の76.1%を占めており、これ等の使用量削減対策として引き続き工事車両・重機の省エネ運転や、営業車両のエコドライブを推進して燃費向上に取組む。 	◎
購入電力使用量の削減	❒3.0%の削減目標に対して実績は10.6%で目標を達成した。 ❒昼食時における事務エリアの消灯徹底等を始めとした小さな取組の積み重ねが定着しており目標達成に繋がった。	◎
ガソリン使用量の削減	❒ガソリン使用量は基準年度に対して23.96%の削減となったが、営業担当者人数が減少し少数精鋭で活動したことが主要因と思慮するが、エコドライブ等の省燃費に向けた取組み等も寄与した。	◎
軽油使用量の削減	❒軽油使用量は基準年度に対し19.01%の削減となったが、その要因は比較的に本社事務所近隣での工事比率が増加したことが主要因であるが、期中に経年劣化した車両を廃車して、新車に入れ替えたことも功を奏した。	◎
一般廃棄物排出量の削減	❒排出量の大半は必要のなくなったコピー用紙であるが、裏面印刷の徹底や、両面印刷の推奨等の効果もあり、基準年度比で62.2%の削減となった。	◎
産業廃棄物排出量の削減	❒産業廃棄物排出量は、「As・Co塊」と「金属くず」の排出量を如何に抑制するかが削減の鍵であるが、それ等を排出する工事が基準年度比で減少したことが、削減率13.07%となった主要因である。	◎
水使用量の削減	❒節水を呼び掛ける表示物を水を使用する水場等に掲示したり、様々な場面で節水意識が高まる様に注意喚起しているが、削減目標をクアすることはできなかった。退職に伴う作業着の洗濯や、営業車両うの洗車等必要不可欠と判断する使用が要因である。	×

【評価基準】　　※削減率乖離幅とは、実績削減率から目標削減率を差し引いた数値。

◎　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が大きく、その削減率乖離幅が10%以上。

○　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が大きく、その削減率乖離幅が10%未満。

△　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が小さく、その削減率乖離幅が10%未満。

×　目標削減率より実績削減率の方が削減幅が小さく、その削減率乖離幅が10%以上。

7-2. 環境経営計画の取組結果とその評価

項　　目	評　　価	評価
環境に配慮した施工（計画）	❒環境に配慮した施工計画は目標件数44件に対して、実績は46件で目標達成した。引き続き環境に配慮した塗料材の使用や、排出ガス対策型の重機使用等々、営業部門及び工事部門全体で環境にやさしい施工（計画）に取組む。	○
社会貢献への参加	❒静岡市河川環境アダプトプログラム事業に参加して、安倍川の清掃を3回実施した。 ❒静岡市の道路サポーター制度に登録して、道路清掃活動を3回実施した。	○

【評価基準】
○　目標達成
×　目標未達成

灯油使用量	❒灯油使用量については目標値は設定せず、適切な保管・管理を行うことを目標とし取組んだ。保管場所は、紫外線による灯油の劣化を避けるため直射日光が当たらず、また雨水等の不純物が入る恐れのない適切な場所で保管が徹底された。また、ワンシーズンで使い切ることをルールとして、シーズン終盤では注文数をコントロールし暖房方法をエアコンに切り替える等の施策も実施した。	○
ＬＰガス使用量	❒ＬＰガス使用量については、自社主力業務である区画線工事を始めとした塗装工事には必要不可欠な資源であり、画期的な技術革新でもない限り、事業規模縮小以外に削減の余地はないため、目標値は設定せず、適正な保管・管理を行うことを目標とし取組んだ。受注工事毎に必要な量を算出し注文を行うことで、在庫管理も煩雑にならず、適切な保管・管理は実現された。	○
化学物質使用量（トルエン）	❒当社の使用する化学物質は、区画線工事を始めとした塗装工事に使用するプライマーに含まれるトルエンであるが、プライマー等化学物質を使用せず塗装品質を保てる方法が現状では見いだせないため目標値は設定せず、適正な保管・管理を行うことを目標とし取組んだ。受注工事毎に必要な量を算出し注文を行うことで、在庫管理も煩雑にならず、適切な保管・管理は実現された。	○

【評価基準】
○　適切な保管・管理が行えた場合
×　適切な保管・管理が行えなかった場合

7-3. 次年度環境経営計画

No	取組内容	担当	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	**二酸化炭素排出量の削減**													
	❒購入電力の削減	杉田、矢田												
	クールビズ・ウォームビズの推進による冷暖房使用の抑制	経理部門												
	事務所内空調の適温化（冷房28°C程度、暖房20°C程度）の徹底													
	事務所・倉庫・トイレ等の照明は不要時の消灯の徹底													
	エアコン簡易点検とフィルターの定期掃除実施													
	蛍光灯の定期清掃実施													
	❒化学燃料（ガソリン）の削減	海野（宏）												
	エコ運転の励行	営業部門												
	アイドリングストップの励行													
	休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える													
	車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告													
	運転日報（走行距離、給油量）の提出と車両別燃費結果のデータ化													
	車両の入替にあっては低燃費車を優先する													
	❒化石燃料（軽油、液化石油ガス）の削減	原												
	エコ運転の励行	工事部門												
	アイドリングストップの励行													
	休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える													
	ディーゼル車の定期的なPDP手動再生操作の実施													
	車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告													
	運転日報（走行距離、給油量）の提出と車両別燃費結果のデータ化													
	対象工事に見合う区画線材料の溶融により液化石油ガスの使用量抑制													
	❒灯油使用量の削減	杉田、矢田												
	冷え込みが厳しい状況を除き電気暖房器具での空調を優先する	経理部門												
	状況に応じ大小のストーブを使い分ける													
	ストーブ使用時はストーブの上に水の入ったやかんを置き加湿する													
	加湿器使用により暖房効果（体感温度上昇）を高める													
	扇風機等により事務所内の空気の撹拌を行う													

ディーゼル車の定期的なPDP手動再生操作の実施 ……新たな取組み

7-3. 次年度環境経営計画

No	取組内容	担当	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2	**廃棄物排出量の削減**													
	❒一般廃棄物の適正分別と廃棄量削減	杉田、矢田												
	段ボール、雑誌、雑紙を分別リサイクル	経理部門												
	ペットボトル、瓶、缶等を分別リサイクル													
	印刷は両面印刷を基本とする													
	不要となった使用済コピー用紙の裏面使用の徹底													
	❒産業廃棄物の適正分別と廃棄量削減	原												
	区画線材料の袋は、溶融式を使用し残材を出さない	工事部門												
	再生資源利用計画書に沿った管理を行う													
	施工・作業方法を見直し、廃棄物発生量の抑制を図る													
	施工・作業時における資材ロスの低減を実施													
	コンテナボックスの交換状況表を作成し削減の意識付けを図る													
	建設現場で発生する廃棄物を適正に分別し混合廃棄物としない													
3	**❒水使用量の削減**	杉田、矢田												
	節水の呼び掛けを行うと共に日常的に節水を励行	経理部門												
	洗濯機の適度な使用													
4	**❒化学物質使用量の抑制及び適正管理**	原												
	化学物質の購入は必要最小限とし、原則保管はしない	工事部門												
	保管にあたっては揮発防止及び流出防止策を講じ厳密に行う													
5	**❒周辺環境へ配慮した施工**	原												
	低騒音・低振動の重機使用により周辺に配慮	工事部門												
	❒環境に配慮した施工計画の提案	海野（宏）												
	再生資源の積極利用	営業部門												
	環境負荷の少ない建築材の使用提案													
	環境負荷の少ない施工のための設計・計画の策定													
6	**❒地域ボランティアへの積極参加**	原												
	環境美化ボランティア（河川環境アドプトプログラム）への参加	工事部門												
	道路清掃活動（「静岡市道路サポーター制度」）への計画的参加													

洗濯機の適度な使用 ……新たな取組み

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

❒当社の事業活動で法的義務を受ける主な環境関連法規の遵守状況

法規・条例・規制	適用内容	遵守状況
廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	❒一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	遵法
	❒産業廃棄物の適正保管	
	❒産業廃棄物の委託処理	
	❒運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	
	❒産業廃棄物の処理の状況に関する現地確認	
	❒マニフェストの交付及び保管	
	❒産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	
	❒虚偽の管理表の交付等の禁止	
	❒不法投棄の禁止	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	❒産業廃棄物管理責任者の設置	遵法
	❒産業廃棄物処理の委託先の実施確認とその記録の保存	
建設リサイクル法（建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律）	❒建設業を営む者の責務	遵法
	❒分別解体等実施義務	
	❒対象建設工事の届出等	
	❒対象建設工事の届出に係る事項の説明等	
	❒再資源化等実施義務	
	❒発注者への報告等	
	❒技術管理者の設置	
騒音規制法	❒特定建設作業の実施の届出	遵法
振動規制法	❒特定建設作業の実施の届出	遵法
下水道法	❒排水設備の設置等	遵法
フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）	❒第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）の、３カ月に１回以上の簡易点検義務	遵法
	❒ 簡易点検記録の作成	
	❒対象機器毎に定められた定期点検の実施及びその内容	
消防法	❒消防法上で定められた危険物の保管方法及び運送方法の遵守	遵法

遵守確認日：2019年11月30日

遵守確認者：海野　景司

コメント：環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが違反はありませんでした。

❒違反・訴訟の有無

1.関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は3年間ありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直し・指示

	項　目		確認　：（必要に応じて評価・コメント記載）	
1・見直し関連情報	1	エコアクション21文書	☑	2017年度版建設業向けガイドライン
	2	環境目標及び目標達成状況	☑	二酸化炭素排出量は目標を大幅に超過して達成した。水使用量は目標を達成できなかったが、それ以外の項目は概ね目標を達成した。
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	☑	活動計画に基づく取組みは殆んど実行できた。社内教育などにより更なる定着を図る。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	該当する法律、規則は遵守した。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	外部からの苦情等は無し。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	水使用量が目標に未達成であった。主に水は洗濯等の目的で使用しているため、これ以上の削減は難しい面もあるが木目細かい節水を積み重ねていく。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑	特筆すべき情報は無し。
	8	その他　（　　）	☑	2017年度版へ移行した

2・代表者による全体評価・見直し指示	全体評価・コメント （環境経営システムの有効性、 環境への取組の適切環境への取組の適切性等）		前年度の経営目標は『売上高比率』と『実績比率』の２パターンで設定したが、今年度は設定を見直して『実績比率』だけとした。その結果は、水使用量などを除き目標を達成した。推進担当者以外の従業員にもその取組みは定着してきている。 主要工事は、この先も当面は一定の需要が見込めるため、業務の効率化と、省エネ活動の推進と併せて、課題でもある社員の高齢化や新人の採用等、人材の確保と育成に取組む。	
	見直し項目		有・無	指示事項等・コメントなど記載
	1	環境経営方針	有・(無)	
	2	環境目標・計画	有・(無)	
	3	環境活動計画・取組項目	有・(無)	
	4	環境に関する組織	有・(無)	
	5	その他のシステム要素	有・(無)	
	6	その他（外部への対応）	(有)・無	次年度は静岡市に「SDGs」を宣言届出する予定で、取組み結果を経営レポートでも情報発信する。

2020年 2月 1日
中部ロードテック株式会社
代表取締役　海野　景司